

12月11日(金曜日)「福音は神の力」

【新改訳 2017】

ローマ 1・16

「私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」

使徒パウロのことばです。なんと力強い、希望に満ちた証でしょうか。このことばは、同時に、神ご自身がパウロを通して語られた宣言でもあるのです。キリストの福音と信者(教会)を迫害していた張本人が、すっかり変えられてこのように宣言し、新約聖書の中で十二の手紙の筆者となり、四回にわたる大伝道旅行をして異邦人の世界へこの福音を伝えた事実こそ、まさに、福音はどんな人をも救う神の力である明確な証明です。条件は、「ただ信じて受ける」ことだけです。

以来、この福音は、人類の歴史において、世界中で、罪と暗黒の力の下にあった人々に救いをもたらし、時には社会制度を変え、人類の生存と生活のあらゆる面に光と希望を与えてきているのです。

確信をもって伝道しようではありませんか。

～祈り～

父なる神さま。御子の福音が、人種も老若男女も問わず、身分も背景も問わず、信じるすべての人々に、あなたの救いを与える、あなたの力そのものであることを感謝します。

【学びのために】

福音:ギリシャ語でユー・アンゲリオン、良い知らせ、吉報を意味し、特にキリスト福音を指します。英語では、グッド・ニュースとかゴスペル(古代英語=ゴッドスペル=グッド・ストーリーまたはニュース)。信じて救われることを「義認」とも言います。